

様式A

不祥事防止のための 心理と行動のワークシート

わいせつ行為

[様式A] 教職員の恋愛感情に由来する身体接触編

このワークシートは、平成 30 年度以降、実際に起きた埼玉県事例から「児童生徒に対する性的接触のうち事故者の恋愛感情に由来したもの」に該当する複数の事例を抽出して共通する出来事や事故者の心理状態など*1を分析し、認知行動療法の考え方*2を取り入れて作成したものです。不祥事を起こすに至るまでには、行動に先立つ思考過程のパターンがあります。ワークシートを使って自分をモニタリングしてみましょう。

*1 掲載に当たっては実際の事例を参考に、改変を加えている。

*2 問題のある行動につながる考え方の癖、いわゆる認知の歪みを認識して、適切な考え方・行動へ向かわせる手法

出来事		不祥事へ向かわせる 心の声	不祥事を思いとどまらせる 心の声
		出来事に対応する心理としてあなたの思いに近い方の□にチェックを入れ、更に思い浮かべることがあれば()の中に記入しましょう。	
日常	授業を受け持つ生徒の一人。よく話しかけてくるので、関わりが多くなってきた。	<input type="checkbox"/> 自分だけに心を開いてくれる気がする。()	<input type="checkbox"/> 適切な距離を保つように注意しないとな。()
親密さの高まり	度々、生徒の方から悩みを相談されていた。	<input type="checkbox"/> なんとか自分が助けになってあげたい。()	<input type="checkbox"/> 自分一人で抱えずに、他の先生に相談して一緒に対応しよう。()
スキンシップ	生徒の頭や肩をポンと叩いた。	<input type="checkbox"/> 元気を出してほしい。仲が良いから良いだろう。()	<input type="checkbox"/> 不必要な身体接触はしないようにしましょう。()
偶然の出来事	偶然、街中で居合わせたので、近くの駅まで一緒に歩いた。	<input type="checkbox"/> 思いがけないことで、気持ちが緩んだ。()	<input type="checkbox"/> 2人きりでいることは良くない。すぐ離れよう。()
相手からの要求	「相談したいことがあるから SNS の連絡先を教えてほしい」と言われた。	<input type="checkbox"/> 相手の要望だ。やむを得ない。()	<input type="checkbox"/> 連絡先の交換はルール違反だな。()
私的なやりとり	SNS でやりとりをするようになった。相談事から徐々に日常のとりのめない話が中心になっていった。	<input type="checkbox"/> 相手の心の支えになってあげられている。()	<input type="checkbox"/> 私的なやりとりは禁止されている。()
相手の好意の確認	プレゼントをもらった。最初はチョコレート、次にキーホルダー。	<input type="checkbox"/> 自分は特別な存在なのかな。受け取らないと関係が悪くなるかな。()	<input type="checkbox"/> 受け取ってはいけいないな。()
特別な関係の確信	「出かけた」と言われ、約束をして校外で会うようになった。	<input type="checkbox"/> 一緒に過ごす楽しい。自分にとっても特別な存在だと感じる。()	<input type="checkbox"/> 教員と児童生徒とは対等な立場ではない。個人的に会うのはいけない。()
正当化の行為	こうした関係は良くないと伝えたが、拒否された。	<input type="checkbox"/> 自分は拒否をした。相手がこれだけ望むのだから構わない。()	<input type="checkbox"/> これ以上関係を深めたら後戻りできないことになる。()
性的接触	出かけた時の車内で、抱きしめた。「キスしていい？」と聞いたら生徒がうなずいたので、キスをした。	<input type="checkbox"/> 相手も受け入れている。好き同士だから大丈夫。互いの気持ちに歯止めが利かない。()	<input type="checkbox"/> 児童生徒は成長過程にあり、正しい意思表示ができるとは限らない。()
発覚	生徒の友達が養護教諭に相談して発覚。事情聴取を受けた。(警察・学校・教育委員会)懲戒処分で免職となった。	最初は相手を思っていたことだったが、結果的に相手の心に深い傷を与えることになった。教員の仕事を失った。家族には失望された。後悔しかない。	

セルフトーク 自分自身のモニタリングをしてみましょう。

「不祥事へ向かわせる心の声」が強いところや、「不祥事を思いとどませる心の声」が弱いところはどの段階でしたか。

(記入しましょう)

あなたが、不祥事に向かう段階を確実に防ぎ止められると思うのはどの段階ですか。それは何故ですか。

(記入しましょう)

あなたにも事故者の特性と共通するものがないか考えてみましょう。

◆参考◆ 事例分析から見た事故者の特性の共通点(ここに掲げた特性に当てはまる者全てが問題のある行為を行うわけではありません。多くの教職員に当てはまるものもあります。)
生徒との距離が近い／問題を一人で抱え込みがち／心を許せる相手が欲しい／好かれたいと思っている／認められたいと思っている／親身になってあげられると思っている

(記入しましょう)

あなたが今、大切にしたいと思っていることは何ですか。(あなたが「大切にしたいこと(人・物など)」は、不祥事を思いとどませるためのブレーキです。もし、あなたが不祥事を起こしてしまったら、「大切にしたいこと」を守ることができなくなってしまうかもしれません。)

(記入しましょう)

防止策 不祥事を食い止めるためにできることを考えましょう。

あなたの「不祥事へ向かわせる心の声」を「不祥事を思いとどませる心の声」に切り替える方策は何ですか。

(記入しましょう) 考え方:

(記入しましょう) 具体的な行動:

あなたが同僚だった場合にできることは何ですか。

(記入しましょう)

あなたの職場で、以下の事項が行われる場合はありますか。 [参考: 26.12.22付け教第1004号「教職員の不祥事防止について」に掲げる留意事項]

SNS等を使った児童生徒との私的な連絡／密室となる部屋等での個人指導／児童生徒を自分が運転する車に乗せる／児童生徒の身体に不必要に接触なし・あり(ある場合には具体的な内容を記入しましょう)

このような事故を起こした場合に問われる①～④の責任について、それぞれ具体的に考えましょう。

(記入しましょう)①行政上の責任: ②刑事上の責任: ③民事上の責任: ④社会的な責任:

同じような事故を、あなたの職場で絶対に起こさない・起こさせないようにするために、みんなで取り組めることを考えましょう。

(記入しましょう)